

ヨシムラ YOSHIMURA®

SPECIAL PARTS TECHNICAL SERVICE MANUAL

TMX530/ABS HEPTA FORCE サイクロン EXPORT SPEC 政府認証
 (国内仕様 (EBL-SJ12J) : '13~ / EU仕様 (SJ091/SJ092) : '12~'13※)

※二輪車モード適用車両のみ適合/WMTcモード適用車両は不適合

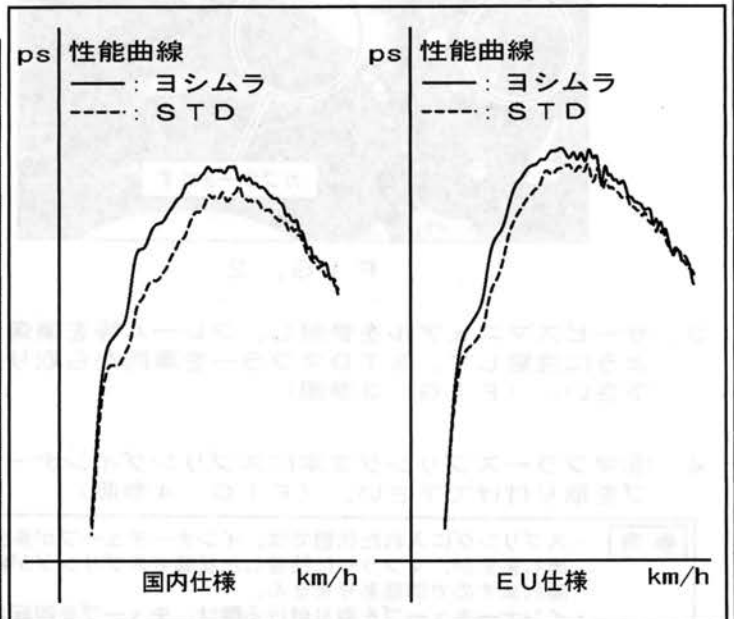
取扱説明書

- 作業に入る前に必ず取扱説明書を熟読して下さい。
- 作業中は本書を手元に置き、指示に従って作業を進めて下さい。
- 本書は製品を廃棄するまで確実に保管して下さい。

- ▲危険** 怠ると怪我につながる注意事項を示してあります。
- ▲注意** 怠ると部品の損傷等につながる注意事項を示してあります。
- ▲参考** スムーズに作業を進める上でのポイントや参考となる事項を示してあります。

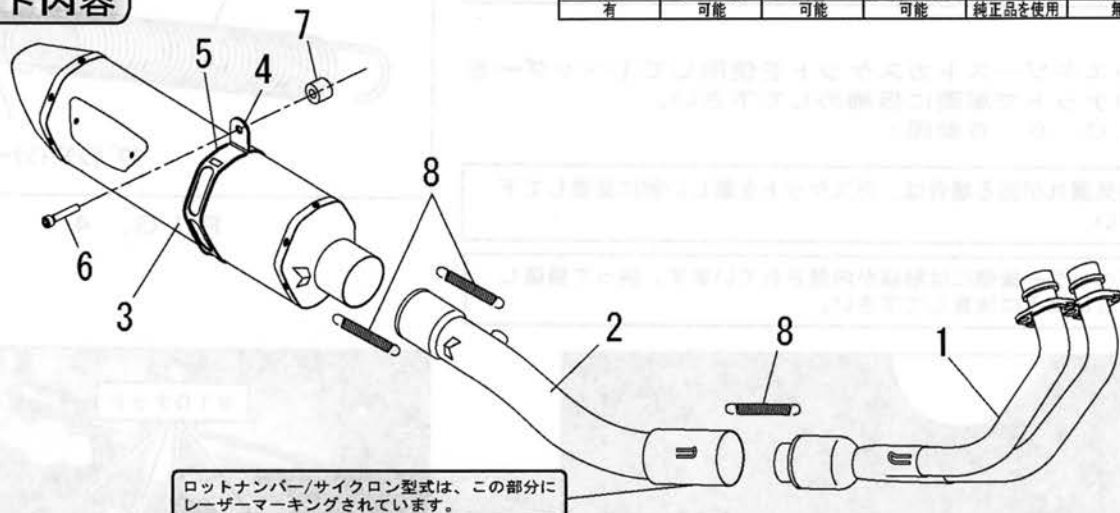
1. 適応車種及び諸元表

車名	YAMAHA TMX530 (13:国内仕様[WMTcモード]) (12-13:EU仕様[二輪車モード])	
車両型式	EBL-SJ12J (国内仕様) / SJ091 (EU仕様) / SJ092 (EU仕様ABS)	
エンジン型式	J413E (国内仕様) / J409E (EU仕様)	
認証番号	JMCA1113001080	
サイクロン型式	Y389SHFC1	
素材	SUS304 / Ti / カーボン	
品番	ステンレスエンド	ステンレスサイレンサー : 110-389-C05C0
		メタルマジックサイレンサー : 110-389-C02C0
		チタンサイレンサー : 110-389-C08C0
	カーボンエンド	チタンブルーサイレンサー : 110-389-C06C0
		ステンレスサイレンサー : 110-389-C05G0
		メタルマジックサイレンサー : 110-389-C02G0
重量	ステンレスエンド	チタンサイレンサー : 110-389-C08G0
		チタンブルーサイレンサー : 110-389-C06G0
		STD : 8.2 kg
	カーボンエンド	ステンレスサイレンサー : 6.4 kg
		メタルマジックサイレンサー : 6.4 kg
		チタンサイレンサー : 6.0 kg



2. セット内容

触媒有	オイル交換可能	オイルフィルター交換可能	センタースタンド可能	ガスケット純正品を使用	カウル加工無	サイレンサーリメイク可能
-----	---------	--------------	------------	-------------	--------	--------------



ロットナンバー/サイクロン型式は、この部分にレーザーマーキングされています。

NO.	品名	数	品番	NO.	品名	数	品番
1	ヘッダー	1	143-389-C000	4	サイレンサーバンド	1	162-50R-J500
2	テールパイプ	1	115-389-C000	5	サイレンサーバンド用スペーサーラバー	1	896-016-0835
3-A	サイレンサー (ステンレスエンド/ステンレスカバー)	1	139-389-C05C0	6	キャップボルトM10×55 P1.25	1	800-210-5055
	サイレンサー (ステンレスエンド/メタルマジックカバー)		139-389-C02C0	7	スペーサーカラー 10-30-35	1	850-010-3035
	サイレンサー (ステンレスエンド/チタンカバー)		139-389-C08C0	8	マフラーズプリング (ロング)	3	118-000-1000
	サイレンサー (ステンレスエンド/チタンブルーカバー)		139-389-C06C0	※	スプリングインナーチューブ	3	118-000-1100
	サイレンサー (カーボンエンド/ステンレスカバー)		139-389-C05G0	※	スプリング取付工具	1	100-000-0000
3-B	サイレンサー (カーボンエンド/メタルマジックカバー)	1	139-389-C02G0				
	サイレンサー (カーボンエンド/チタンカバー)		139-389-C08G0				
	サイレンサー (カーボンエンド/チタンブルーカバー)		139-389-C06G0				

二輪自動車排出ガス試験結果成績表(WMTCモード)

試験期日 H25.10.30

試験機関名 (-財)日本車両検査協会 東京検査所



◎試験二輪自動車

車名・型式(類別)	ヤマハ・EBL-SJ12J	原動機型式	J413E	最高出力	35/6750 kW/min ⁻¹	車両クラス	3-2
車台番号	SJ12J-000359	サイクル	4	気筒	2	総排気量	0.530 L
走行キロ数	1876 km	変速機	自動 前進 無 段	減速比	6.034	車両重量	221 kg
使用燃料	無鉛ハイオクガソリン	密度	-- g/cm ³	(温度 -- K)	最高速度	140以上 km/h	
等価慣性重量(設定値)	300 kg	駆動輪のタイヤ空気圧	280 kPa				

◎試験成績書

○タイプⅠ(モード測定)

排出ガス成分	パート1(又は低速パート1) 低温	パート1(又は低速パート1、パート2、低速パート2) 高温	パート3(又は低速パート3) 高温	排出量
CO(NDIR)	2.992 g/km	0.426 g/km	0.527 g/km	1.093 g/km
HC(FID)	0.180 g/km	0.018 g/km	0.091 g/km	0.077 g/km
NOx(CLD)	0.219 g/km	0.150 g/km	0.452 g/km	0.243 g/km
CO ₂ (NDIR)	134.1 g/km	94.7 g/km	108.0 g/km	107.9 g/km

○タイプⅡ(アイドリング測定)

濃 度	
CO	HC
0.0 %	7 ppm

◎排出ガス対策装置

種 類 (個数)	三元触媒 (3)	酸化触媒 ()	E G R ()	エアポンプ ()	リット'バルブ' ()	O ₂ センサー (1)
排出ガス対策装置	製作者名	株式会社ヨシムラジャパン	----	----	----	メーカー純正



◎備考 最高速度はシャシダイナモメータにて確認

排出ガス対策装置は、株式会社ヨシムラジャパン製“JMCA0010034(2個)、JMCA0010025(1個)”を装着し、試験を実施した。(依頼者の申告による)

WMTCモード(タイプ1)試験結果



試験期日 1125.10.30 試験機関名 (一財)日本車両検査協会 東京検査所

◎試験二輪自動車

車名・型式(類別) ヤマハ・EBI-SJ12J 原動機型式 J413E 最高出力 35/6750 kW/min 車両クラス 3-2
 車台番号 SJ12J-000359 サイクル 4 気筒 2 総排気量 0.530 L
 走行キロ数 1876 km 変速機 自動 前進 無 段 減速比 6.034 車両重量 221 kg
 使用燃料 無鉛ハイオクガソリン 密度 -- g/cm³ (温度 -- K) 最高速度 140以上 km/h
 等価慣性重量(設定値) 300 kg 駆動輪のタイヤ空気圧 280 kPa

◎試験機器

シャシダイナモータ(DC/DY) 陽光電機 ACU-2 送風機(車速比例型) サワダエンジニアリング M1V24K-R3D1HM

◎排出ガス測定機器

排出ガス分析計 モード測定用 堀場製作所 MEXA-7400
 CVS装置(CFV) 堀場製作所 CVS-7100 (採取量 6.1 m³/min)

◎ソーク記録

ソーク室内温度 (退室前6時間の温度) 最高 300.6 K ~ 最低 294.4 K 潤滑油温度(放置後) 294 K
 ソーク時間 17 時間(入室 29 日 17 時 00 分 ~ 退室 30 日 10 時 30 分) 冷却水温度(放置後) 294 K

◎試験結果

○モード測定

運転開始時刻 10 時 40 分
 試験室内乾球温度 295.8 K ~ 295.8 K 湿度補正係数(KH) 0.945
 // 湿球温度 289.6 K ~ 289.6 K 排気管開口部静圧差 --- kPa(50km/h)
 // 相対湿度 53 % 試験室内大気圧 102.1 kPa
 希釈率(DF) 24.516 希釈排出ガス量(Vmix) 15121 l/km 走行距離 4.066 km

パート1 (又は低速パート1)	排出ガス成分	希釈排出ガス濃度 A	希釈空気濃度 B	正味濃度 A-[B×(1-1/DF)]	排出量
低温	CO (NDIR)	171.20 ppm	0.61 ppm	170.61 ppm	2.992 g/km
	HC (FID)	24.30 ppmC	3.82 ppmC	20.64 ppmC	0.180 g/km
	NOx (CLD)	8.05 ppm	0.00 ppm	8.05 ppm	0.219 g/km
	CO ₂ (NDIR)	0.527 %	0.044 %	0.485 %	134.1 g/km

希釈率(DF) 16.443 希釈排出ガス量(Vmix) 6741 l/km 走行距離 9.112 km

パート1 (又は低速パート1、 パート2、低速パート2)	排出ガス成分	希釈排出ガス濃度 A	希釈空気濃度 B	正味濃度 A-[B×(1-1/DF)]	排出量
高温	CO (NDIR)	54.99 ppm	0.54 ppm	54.49 ppm	0.426 g/km
	HC (FID)	8.07 ppmC	3.43 ppmC	4.85 ppmC	0.018 g/km
	NOx (CLD)	12.41 ppm	0.00 ppm	12.41 ppm	0.150 g/km
	CO ₂ (NDIR)	0.809 %	0.044 %	0.767 %	94.7 g/km

希釈率(DF) 8.521 希釈排出ガス量(Vmix) 3891 l/km 走行距離 15.730 km

パート3 (又は低速パート3)	排出ガス成分	希釈排出ガス濃度 A	希釈空気濃度 B	正味濃度 A-[B×(1-1/DF)]	排出量
高温	CO (NDIR)	117.36 ppm	0.54 ppm	116.88 ppm	0.527 g/km
	HC (FID)	43.57 ppmC	3.28 ppmC	40.68 ppmC	0.091 g/km
	NOx (CLD)	64.47 ppm	0.00 ppm	64.47 ppm	0.452 g/km
	CO ₂ (NDIR)	1.557 %	0.044 %	1.517 %	108.0 g/km

◎備考



WMTCモード(タイプII)試験結果



試験期日 H25.10.30

試験機関名 (一財)日本車両検査協会 東京検査所

◎試験二輪自動車

車名・型式(類別) ヤマハ・EBL-SJ12J 原動機型式 J413E 最高出力 35/6750 kW/min⁻¹ 車両クラス 3-2
 車台番号 SJ12J-000359 サイクル 4 気筒 2 総排気量 0.530 L
 走行キロ数 1876 km 変速機 自動 前進 無 段 減速比 6.034 車両重量 221 kg
 使用燃料 無鉛ハイオクガソリン 密度 -- g/cm³ (温度 -- K) 最高速度 140以上 km/h
 等価慣性重量(設定値) 300 kg 駆動輪のタイヤ空気圧 280 kPa

◎試験機器

シャフトイネモータ(DC/DY) 陽光電機製 ACU-2
 送風機(車速比例型) サワダエンジニアリング製 M1V24K-R3D1HM

◎排出ガス測定機器

排出ガス分析計 アイドリング測定用 堀場製作所 MEXA-7400
 CVS装置(CFV) 堀場製作所 CVS-7100 (採取量 --- m³/min)

◎試験結果

○アイドリング測定

スパークプラグ座温度 --- K 冷却水温度 363 K 潤滑油温度 375 K

原動機回転速度 (min ⁻¹)	吸気マニホールド 内圧力(-kPa)	測定濃度値(NDIR)			濃度補正值	
		CO	HC	CO ₂	CO	HC
1200	-----	0.0 %	7 ppm	15.7 %	---	---



◎備考

試験車両の写真

車名・型式

ヤマハ・EBL-SJ12J



- ①: センサー類
- ②: 触媒
- ③: DPF
- ④: EGR
- ⑤: 二次空気
- ⑥: その他

◎備考

(注) 本書(正本)の写しを作成する場合であって、当該写しが正本と相違ないことを証明する必要があるときには、写しにおける本欄に本書(正本)を所有している者が記名および押印するとともに、車台番号を記載して下さい。

この写しは、正本と相違ないことを証明する。

氏名又は名称 株式会社ヨシムラジャパン 印

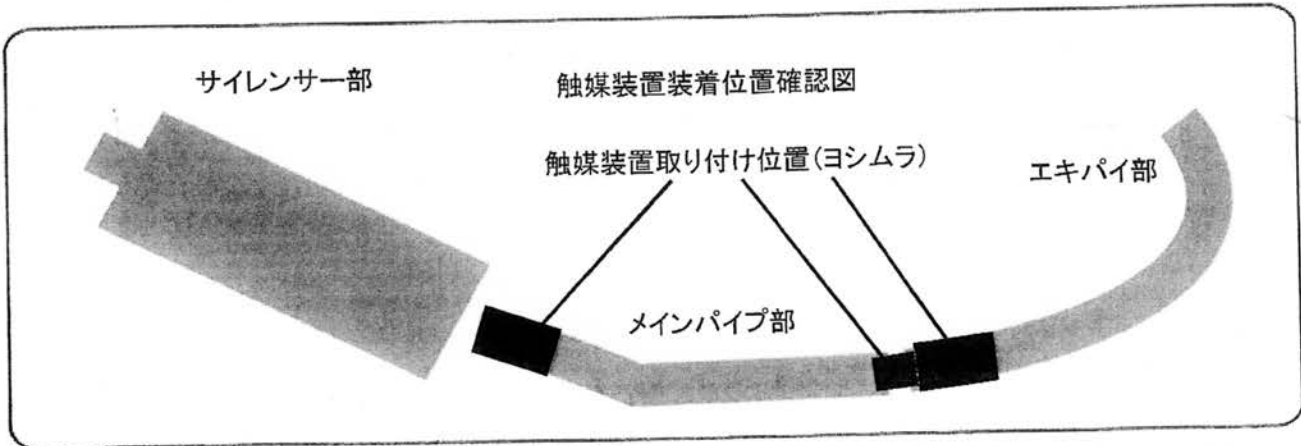
車台番号

(※:不明な場合には、必要とする自動車が決まった時点で記載する。)

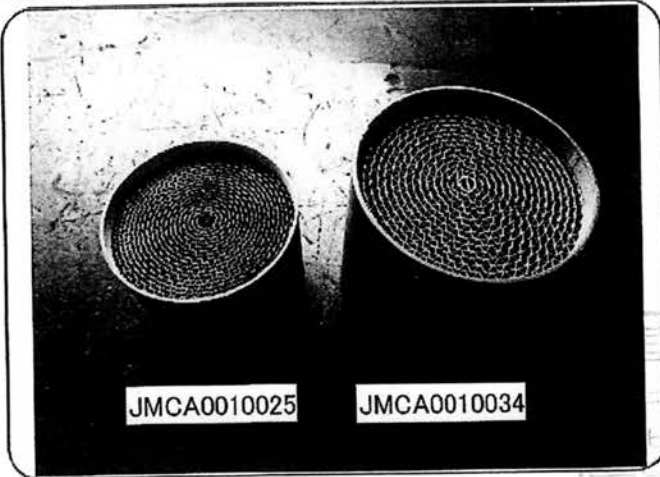
日本自動車

排出ガス対策装置装着状態確認書

自動車車名・型式	ヤマハ EBL-SJ12J
排ガス試験成績書番号	H 580713
触媒装置メーカー名	(株)ヨシムラジャパン
触媒装置名称	JMCA 0010025 1個、0010034 2個
マフラーJMCA認定番号	



触媒装置単体写真



目視による排ガス対策装置の確認方法
マフラーを勘合部から分解しエキパイ後ろ、
メインパイプ後ろから目視確認可能

触媒の寸法 外径、長さ: $\phi 56$ L40 1個使用
 $\phi 63.5$ L60 2個使用

車両装着時写真



全国二輪車用品連合会
〒107-0052
東京都港区赤坂2-19-5
TEL03-5545-7220

3. 取付方法

△注意 ※作業時は部品を損傷しないよう注意して作業を行なって下さい。
※ボルト、ナット締め付けの際は必ず規定トルクを守って下さい。
ボルト、ナットの脱落・製品の破損の原因になります。

1. SET内容を確認して下さい。
2. メーカー発行のサービスマニュアルを参照し、右側のサイドカバーを車両から取り外して下さい。
次に、O₂センサーのコードを結束バンドから外し、カブラーを外して下さい。(FIG. 1, 2参照)



FIG. 2



FIG. 1

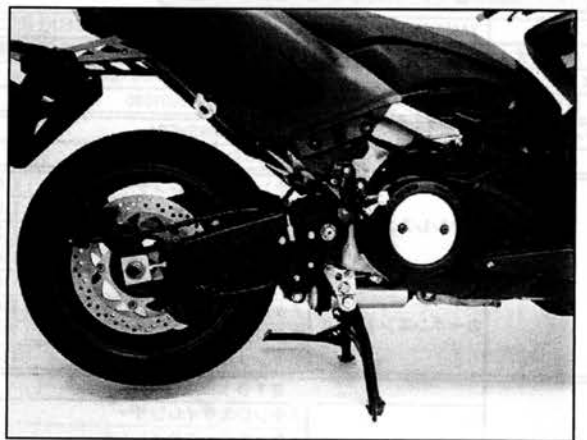


FIG. 3

3. サービスマニュアルを参照し、フレーム等を損傷しないように注意して、STDマフラーを車両から取り外して下さい。(FIG. 3参照)
4. ⑧マフラー Springs 3本にスプリングインナーチューブを取り付けて下さい。(FIG. 4参照)

参考 ・スプリングに入れた状態では、インナーチューブが多少はみ出しますが、マフラーに装着した状態でスプリングが伸びて隠れますので問題ありません。
・インナーチューブを取り付ける際は、チューブを回転させると入れ易くなります。

5. STDエキゾーストガスケットを使用して①ヘッダーをSTDナットで車両に仮締めして下さい。(FIG. 5, 6参照)

参考 排気漏れがある場合は、ガスケットを新しい物に交換して下さい。

△危険 ※ヘッダー後側には触媒が内蔵されています。誤って損傷しないように注意して下さい。

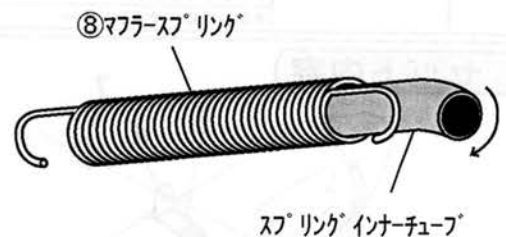


FIG. 4

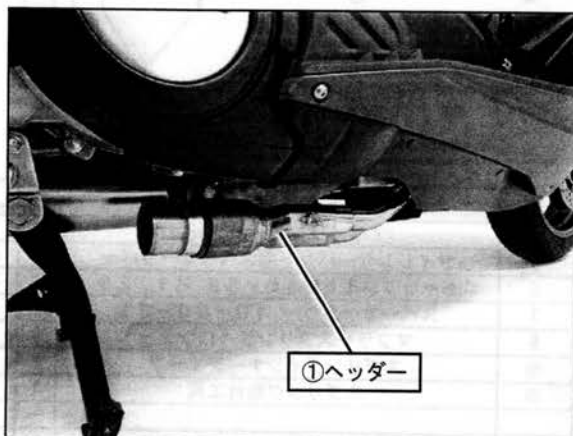


FIG. 5

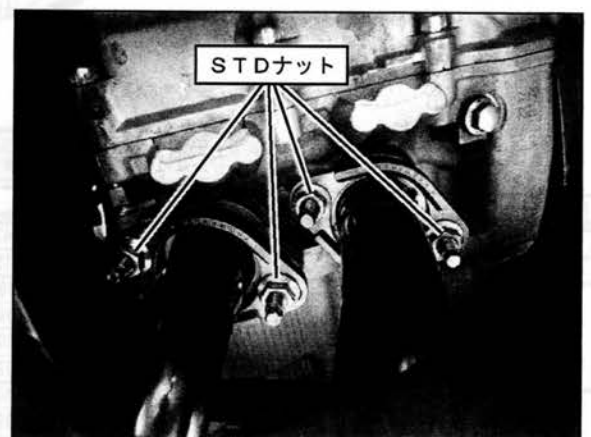


FIG. 6

6. STDマフラーからO₂センサーを外し、②テールパイプに取り付けて規定トルクで締め付けて下さい。
(FIG. 7参照)

⚠注意 O₂センサーは衝撃を与えると故障します。取り扱いの際は十分に注意して下さい。

⚠注意 規定トルク O₂センサー : 45 Nm

⚠危険 ※テールパイプ後側には触媒が内蔵されています。誤って損傷しないように注意して下さい。

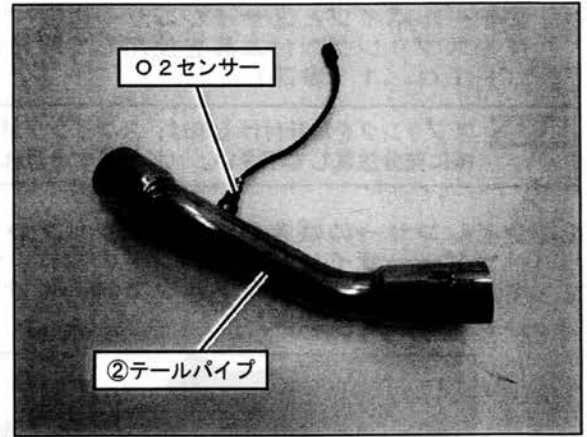


FIG. 7

7. ①ヘッダーに②テールパイプを差し込み、⑧マフラスプリングをスプリング取付工具を使用して取り付けて下さい。(FIG. 8参照)

⚠危険 スプリングを取り付ける際は、スプリングが工具から外れない様に十分注意して下さい。(怪我をする恐れがあります)

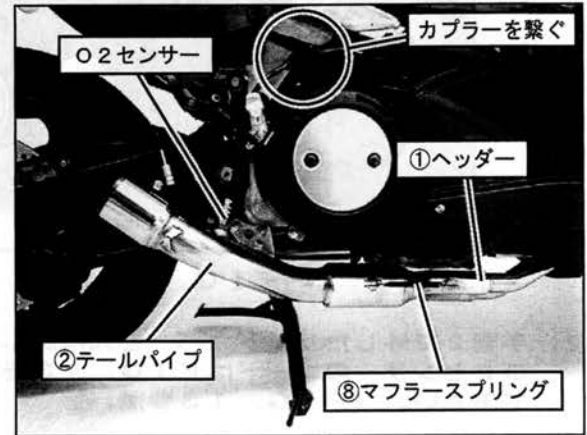


FIG. 8

9. ④サイレンサーバンドに⑤サイレンサーバンド用スペーサーラバーを取り付けて下さい。
③サイレンサーを②テールパイプに差し込み、④サイレンサーバンドを③サイレンサーに通して⑥キャップボルトM10×55P1.25、⑦スペーサーカラー10-30-35、STDワッシャ、STDナットを使用して車両に仮締めして下さい。(FIG. 9, 10参照)

参考 ※サイレンサーバンドにバンド用スペーサーラバーを取り付ける際、バンドの合わせ目部分からはみ出したラバーは、はさみ等で切り取って下さい。

⚠注意 ※サイレンサーに対してバンドを斜めに取り付けると、バンドが破損する恐れがあります。
※バンドを仮締めする前に、サイレンサーとバンドの間に隙間が無い事を確認して下さい。隙間がある状態でバンドを締めると、サイレンサーのカバーが変形する恐れがあります。

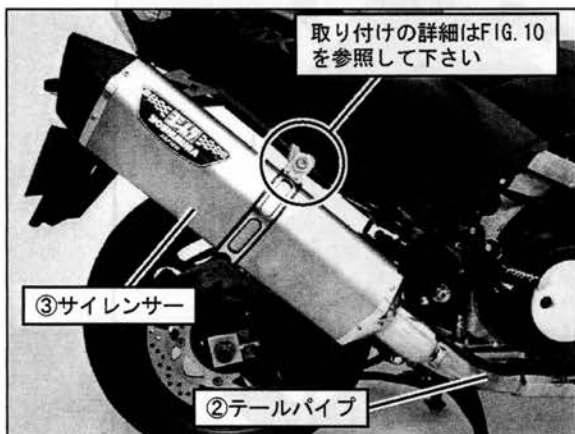
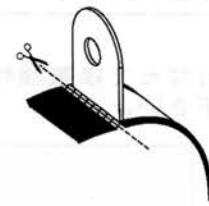


FIG. 9

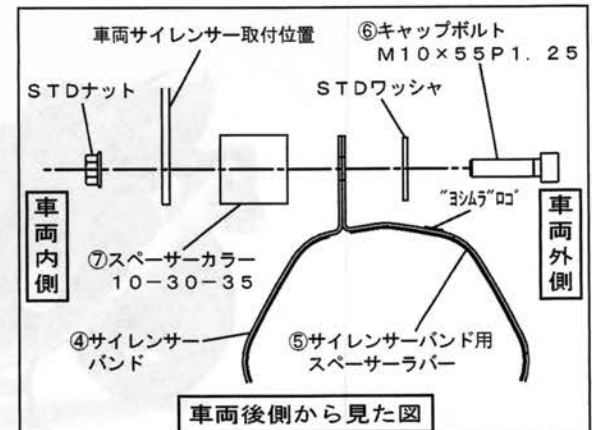


FIG. 10

10. ②テールパイプと③サイレンサーに⑧マフラスプリングをスプリング取付工具を使用して取り付けて下さい。
(FIG. 11参照)

⚠危険 スプリングを取り付ける際は、スプリングが工具から外れない様に充分注意して下さい。(怪我をする恐れがあります)

11. サイレンサーの傾きや車両とのクリアランスを調整し、ヘッダー→サイレンサーバンドの順に、仮締めしていたボルト・ナットを規定トルクで締め付けて下さい。
(FIG. 12参照)

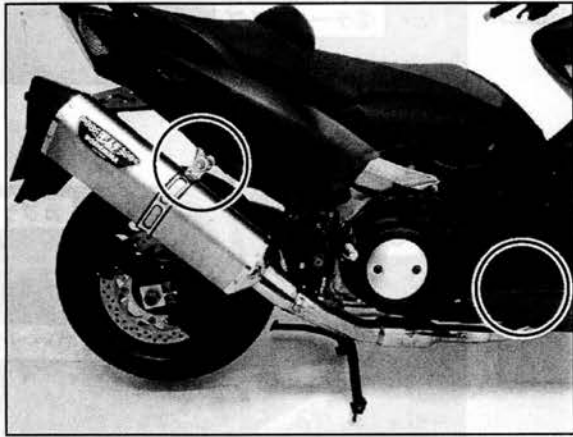


FIG. 12

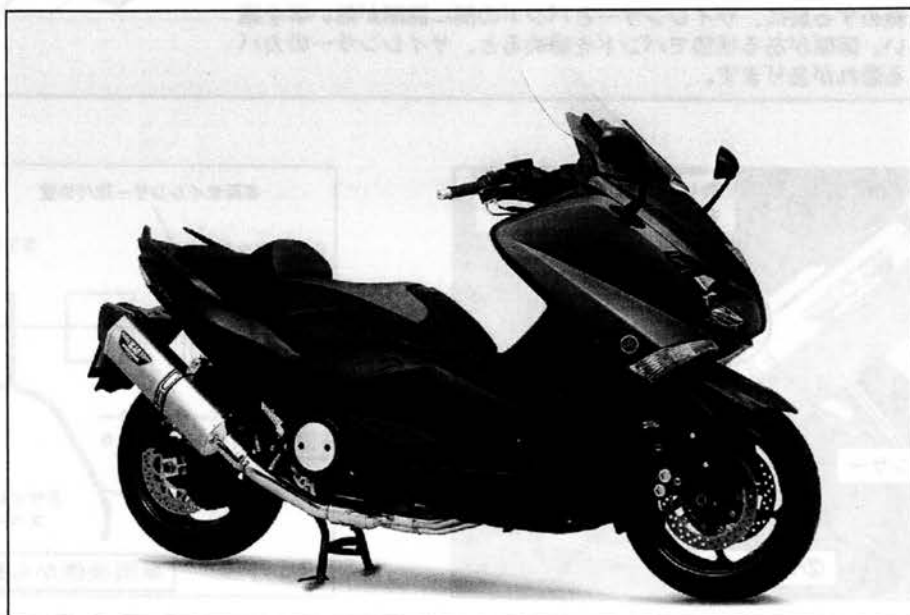
12. 手順2で外したサイドカバーを元に戻して下さい。
O2センサーのコードはFIG. 13を参考に取り出して下さい。(FIG. 13参照)

13. マフラーと車両各部が干渉していない事を確認して下さい。干渉している場合は締め付けたボルト・ナットを緩め、干渉しない位置に再度調整して下さい。

14. 中性洗剤、ウエス等でマフラー全体を良く脱脂して下さい。指紋などが付着したままエンジンを始動すると、色ムラとなって残ってしまふことがあります。

⚠注意 ※メタルマジックカバーのサイレンサーは、パーツクリーナー等が付着すると塗装が剥がれてしまいます。中性洗剤以外でのクリーニングは絶対に行わないで下さい。

15. 暖気運転を行なって排気漏れが無いことを確認し、エンジンが完全に冷えてから各ボルトの増し締めを行なって下さい。



TMAX530/ABS HEPTA FORCE サイクロン EXPORT SPEC 政府認証

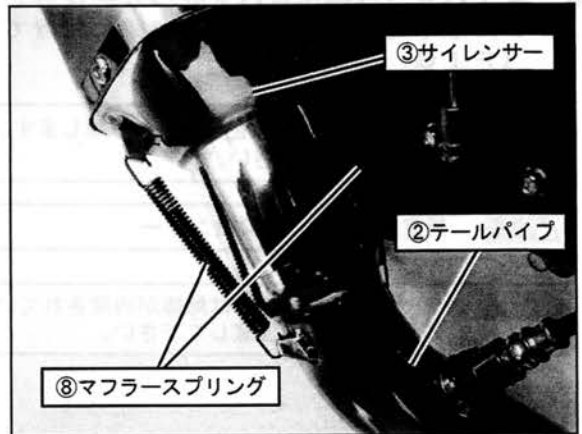


FIG. 11

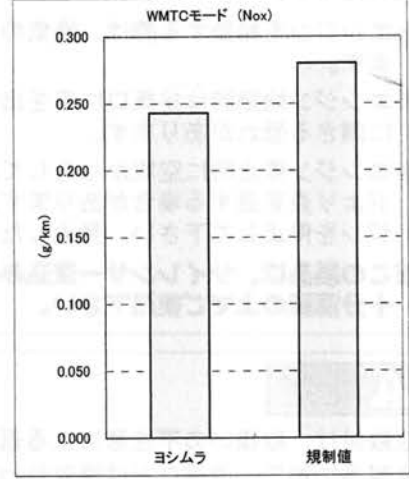
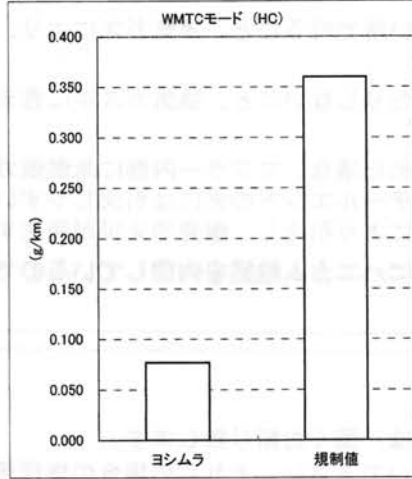
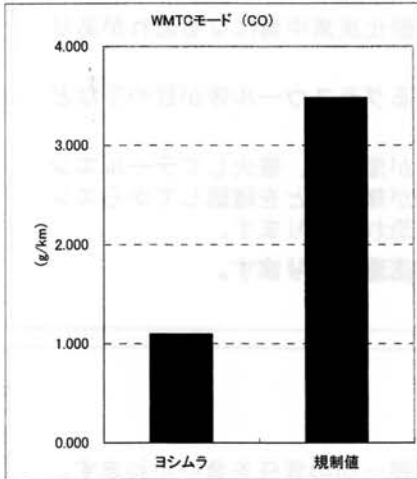


FIG. 13

○排ガス測定結果表

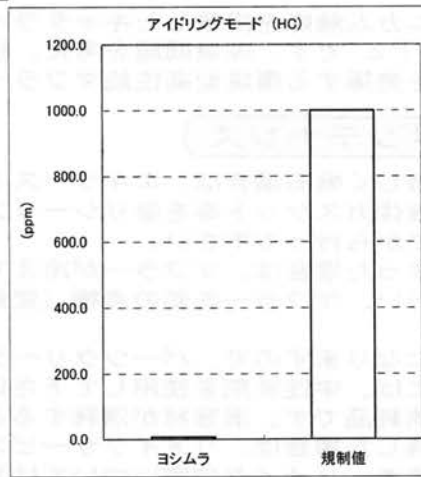
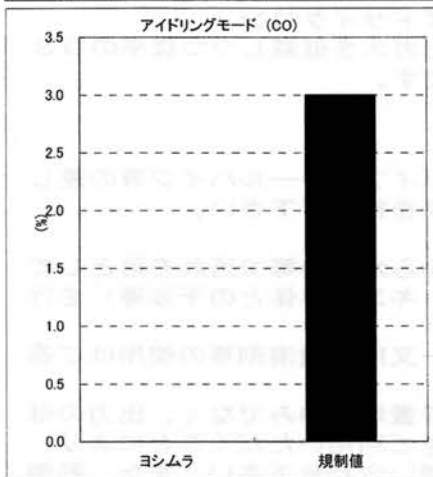
WMTCモード測定

	ヨシムラ	規制値
一酸化炭素CO(g/km)	1.093	3.48
炭化水素HC(g/km)	0.077	0.36
窒素酸化物Nox(g/km)	0.243	0.28
二酸化炭素CO ₂ (g/km)	107.90	規制無



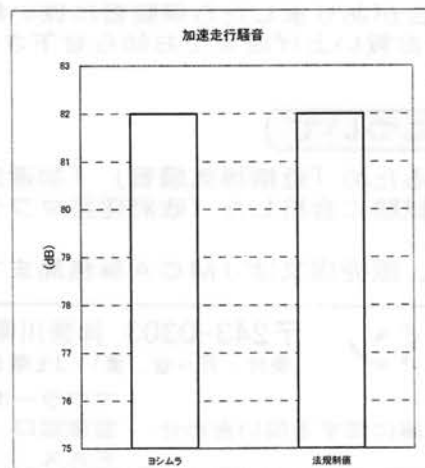
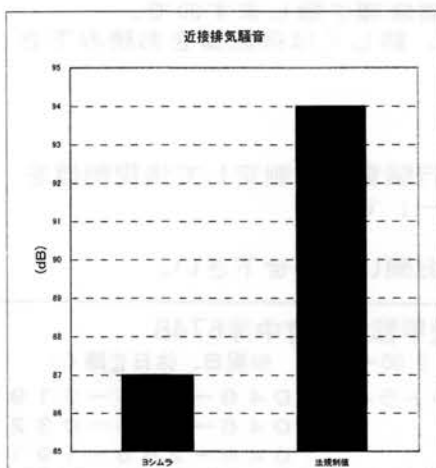
アイドリングモード測定

	ヨシムラ	規制値
一酸化炭素CO(%)	0.0	3.0
炭化水素HC(ppm)	7.0	1000



○騒音測定結果表

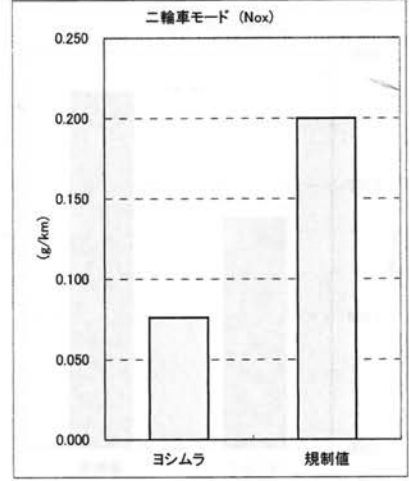
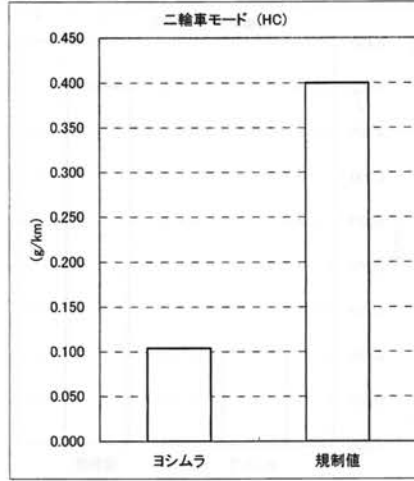
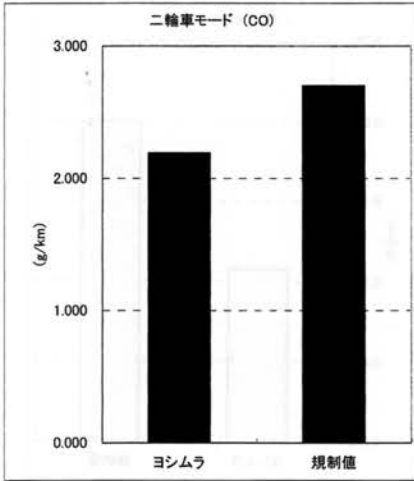
	ヨシムラ	法規制値
近接排気騒音(dB)	87	94
加速走行騒音(dB)	82	82



○排ガス測定結果表

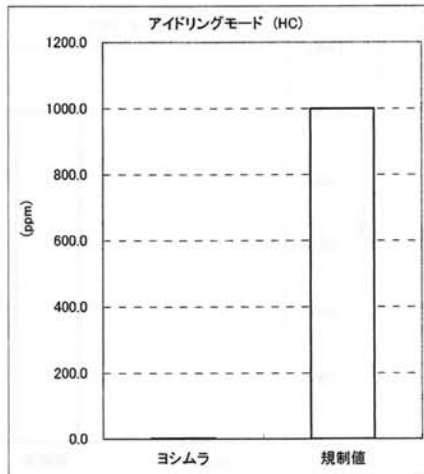
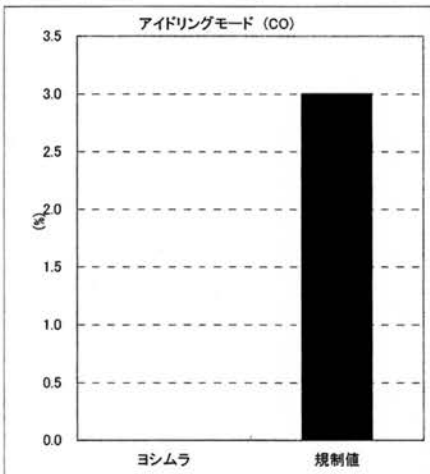
二輪車モード測定

	ヨシムラ	規制値
一酸化炭素CO(g/km)	2.190	2.70
炭化水素HC(g/km)	0.104	0.40
窒素酸化物Nox(g/km)	0.076	0.20
二酸化炭素CO ₂ (g/km)	134.50	規制無



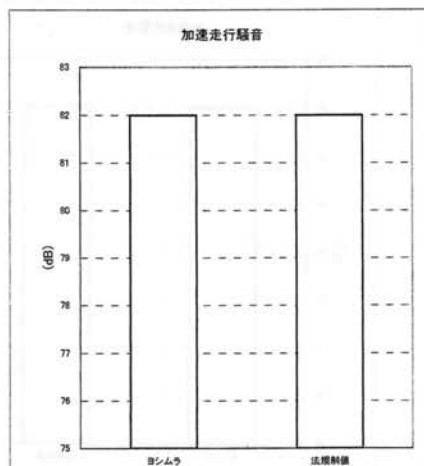
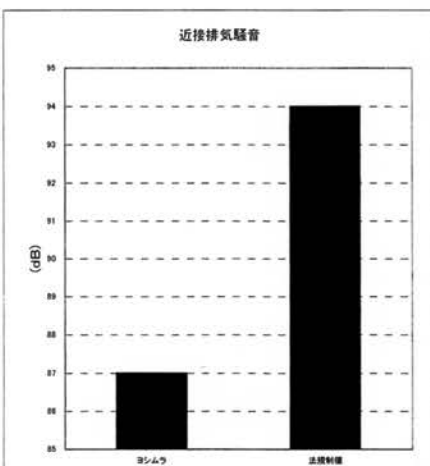
アイドリングモード測定

	ヨシムラ	規制値
一酸化炭素CO(%)	0.0	3.0
炭化水素HC(ppm)	2.0	1000



○騒音測定結果表

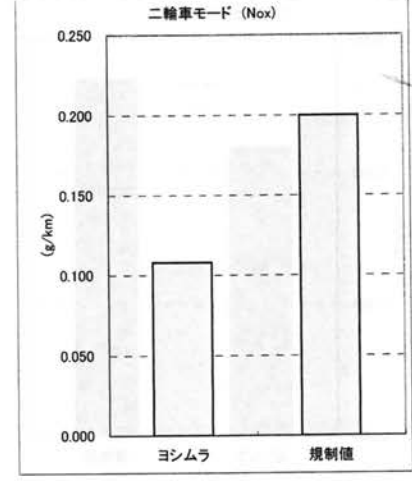
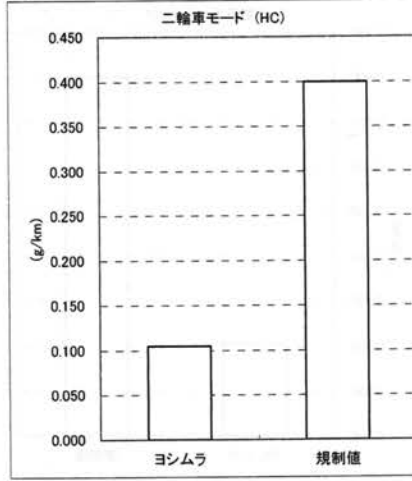
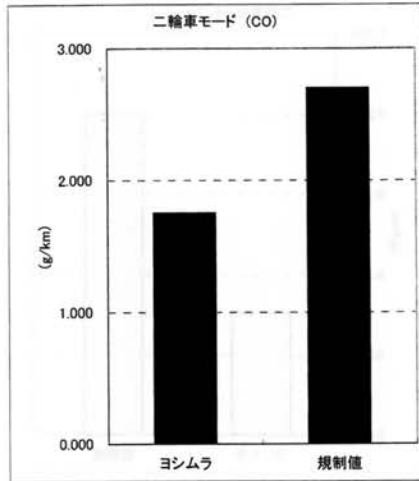
	ヨシムラ	法規制値
近接排気騒音(dB)	87	94
加速走行騒音(dB)	82	82



○排ガス測定結果表

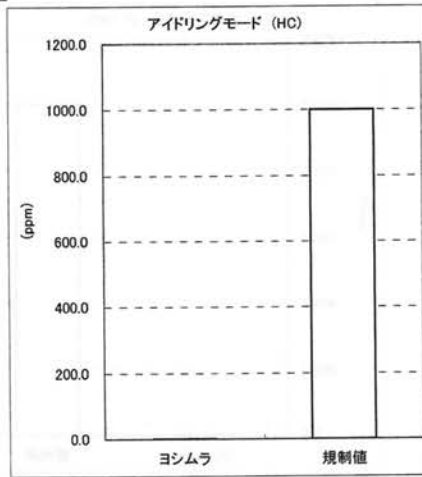
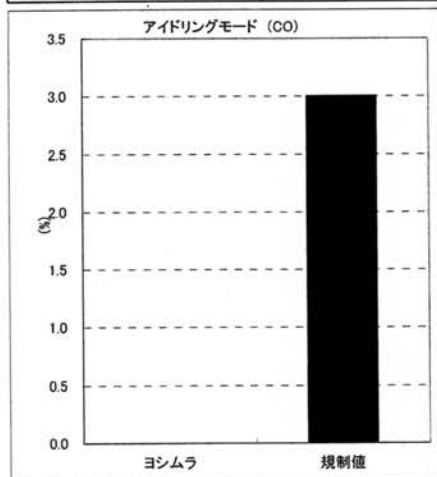
二輪車モード測定

	ヨシムラ	規制値
一酸化炭素CO(g/km)	1.750	2.70
炭化水素HC(g/km)	0.105	0.40
窒素酸化物Nox(g/km)	0.108	0.20
二酸化炭素CO ₂ (g/km)	141.30	規制無



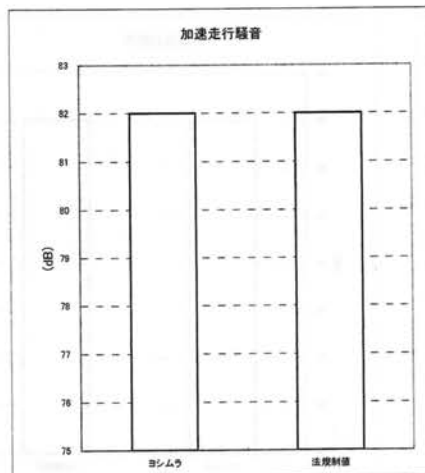
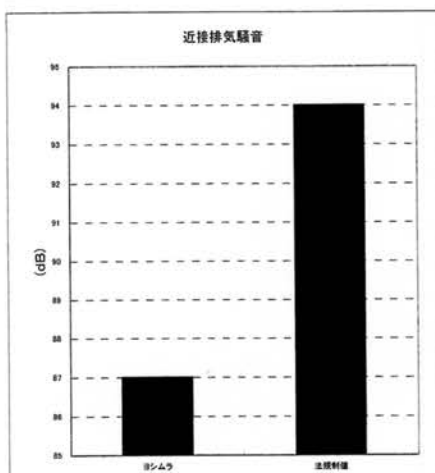
アイドリングモード測定

	ヨシムラ	規制値
一酸化炭素CO(%)	0.0	3.0
炭化水素HC(ppm)	1.0	1000



○騒音測定結果表

	ヨシムラ	法規制値
近接排気騒音(dB)	87	94
加速走行騒音(dB)	82	82



取扱説明書補足

○JMCA認定マフラー車検・法規制対応について

STDマフラー内部に触媒装置が装着されているマフラーを交換する場合は排出ガス試験（二輪車モード）を受け合格したマフラーでなければ、違法となります。

本製品はJMCA認定を取得し法規制に適合しています（JMCA小冊子参照）

JMCAマフラー認定において、排出ガス試験（二輪車モード）をクリアしたマフラーには、青色または緑色プレートに「平成11年二輪車排出ガス規制対応」と記載してあるプレートがサイレンサー後部上面に貼付てあります。

ユーザー様へ

車検受験の際は「自動車排出ガス試験成績表」が必要となります。「自動車排出ガス試験成績表」の提出を求められた場合は、速やかに提出できるように準備をして下さい。また、車検取扱店等に車検を依頼する場合は添付の「自動車排出ガス試験成績表」を担当者に提出して下さい。

本書を紛失した場合は、ヨシムラジャパンまでご連絡下さい。

車検取扱店様へ

車検受験の際は「自動車排出ガス試験成績表」が必要となります。ユーザー様より添付の「自動車排出ガス試験成績表」を預かり車検を行ない、「試験成績書（写）」の提出を求められた場合は、速やかに提出できるように準備をして下さい。車両納車時に「自動車排出ガス試験成績表」を必ずユーザー様に返却して下さい。

※商品の仕様に関して不明な点がございましたら、(株)ヨシムラジャパンまでお問い合わせ下さい。

(株)ヨシムラジャパン

〒243-0303神奈川県愛甲郡愛川町中津6748

TEL:046-286-0321

FAX:046-286-1919



VIA

H580713 - 1/5



JAPAN VEHICLE INSPECTION ASSOCIATION

平成 25 年 10 月 31 日

自動車排出ガス試験結果証明書

一般社団法人 全国二輪車用品連合会 殿
(株式会社 ヨシムラジャパン)

一般財団法人 日本車両検定 東京



自動車車名・型式 ヤマハ・EBL-SJ12J

自動車車台番号(又はシリアル番号) SJ12J-000359

標記試験自動車について実施した自動車排出ガス試験の結果は別添のとおりです。

TEL 046-288-0321
FAX 046-288-1310

日本車両検定 (株)